

## 地震発生

### 厨房スタッフ 行動マニュアル

大きな揺れが収まるまで厨房で待機（熱湯、調理品落下に注意）。

- ※電磁調理器をOFFにする。
- ※火災がある場合105号室前の消火器で初期消火。

火災の心配がなければ、フロントに行き、入居者の避難誘導をする。頭上の落下物に注意（廊下側を歩く）。

- ※内階段を開放、内階段横の非常口解放。
- ※巡回時に各部屋安否確認とインターホンにて安否確認。

建物に被害がなく避難する事もない場合、上記にて終了し施設長に報告。避難が必要な場合下記の通り行動する。

入居者様は避難マニュアルにて避難。入居者一次避難場所は各階エレベーター横ラウンジ。

建物に被害がなく、津波警報発令の場合：  
↓  
**3階に避難**

揺れが続く場合、各階にスタッフを配置する。（厨房・介護）

建物に被害ある場合：  
↓  
**心泉学園に避難**

訪問介護・厨房スタッフにて各階ラウンジ避難者を、内階段を使用して一階階段横避難扉まで誘導。

- ※入居者様は一次避難場所の各階エレベーター横ラウンジに避難。
- ※入居者様の点呼、未避難の入居者様宅へ急行。
- ※マスターキーにて解錠し安否確認及び避難指示。
- ※玄関は使用しない（ガラスであるので）。

建物倒壊の恐れがある場合は避難開始。二次避難場所は駐車場。正確に点呼し避難遅れがないようにする。

- ※避難遅れがないか必ず入居者様の安否確認をする。
- ※避難遅れがある場合でも揺れが収まるまでは避難を続ける。  
収まりしだい救助に向かう。

自治会、行政の指示に従い安全な場所へ移動。

- ※入居者・スタッフの安否が確認できれば責任者は本社、自治会との渉外に当たる。  
スタッフは入居者様のそばを離れず見守りを続ける。